

ChatGPT風 履歴付きチャットボット (Flaskアプリ)

◇ アプリ概要

OpenAI API (モデル: `gpt-3.5-turbo`) を利用した、チャット履歴を保持しながら対話する Flask アプリです。

ユーザーからの入力をもとに OpenAI API とやりとりし、履歴付きで描画するWebチャットを実現します。

✦ 機能 / 特徴

- ☒ FlaskアプリとHTMLフォームでシンプルなチャットUI
 - ☒ OpenAI APIと連携 (`gpt-3.5-turbo`)
 - ☒ チャット履歴保持 (ページ内の持続のみ)
 - ☒ 現在日付の情報を与えて正しい日付を応答
 - ☒ JavaScriptでチャット表示後に**自動スクロール**
-

画面イメージ

チャット画面	内容
→ 入力フォーム	ユーザーからのメッセージ
→ 履歴表示	OpenAI APIとの履歴
→ 自動スクロール	最新メッセージまで移動

■ 初期画面（稼働時）



■ 初回入力（履歴表示）



■ 履歴画面自動（下へ）スクロール



⚙️ 使用技術 / ライブラリ

技術	説明
Python	バックエンド言語
Flask	軽量なWebフレームワーク
HTML / CSS	UIのマークアップ・スタイル
OpenAI	<code>gpt-3.5-turbo</code> を使用
dotenv	API Keyの暗号化ロード
JavaScript	自動スクロール制御

🚀 起動方法

1. 必要なライブラリをインストール

```
pip install flask python-dotenv openai
```

2. OpenAI API Key を `.env` に保存

```
OPENAI_API_KEY=sk-xxxxxxx
```

3. アプリを起動

```
python chatgpt_flask_chatbot.py
```

4. ブラウザでアクセス

<http://127.0.0.1:5000>

📁 ファイル構成

```
chatbot-app/  
├── chatgpt_flask_chatbot.py  
├── .env  
├── templates/  
│   └── index.html  
├── static/  
│   ├── style.css  
│   └── script.js ← 自動スクロール用JS
```

🧠 補足

- 使用API: [OpenAI Chat API](#)
- 実行日付を正しく返したい場合は `datetime.today()` を使用
- チャット画面では JavaScript により、**送信後に自動スクロール**

```
// static/script.js  
window.onload = function () {  
    const chatArea = document.getElementById("chat-history");  
    if (chatArea) {  
        chatArea.scrollTop = chatArea.scrollHeight;  
    }  
};
```

※自動スクロール機能は、チャット表示領域に適切なIDを設定して動作します